

『悠遊会』松島・平泉旅行

『悠遊会』とは、66期B・U・Iの輸送同期生会です。

今秋、退官後第4回目の懇親会を旅行会の形で実施しました。ご紹介します。

“ 島々や千々に砕きて夏の海 ”

平成17年9月23日午後、B・AOC両指導教官を始め会員10名、同夫人5名の計15名、松島海岸駅に定時集合。生憎の雨空、まず、松島全島～嵯峨溪コースの遊覧船上で再会を喜びつつ乾杯、日本三景(溪)の景観・絶景を一時の晴れ間に楽しみ、松島のシンボル「五大堂」を経て、政宗公の菩提寺「瑞巖寺」にて伊達の粋を感じ、ホテル「松島一の坊」へ。

旅行のメインは、“懇親会と二次会”、料理コンテスト優秀作品の逸品(地魚のミルフィーユ仕立て)・吉次の煮付けなどの会席料理に舌鼓を打ちながら、

“「い・か・に・た・す」(色気・カラオケ・日記・旅・スポーツ)がシニア人生訓”との久保田教官のご教示、今の・これからのシニアライフなどの近況紹介、懇談で盛り上がり、そして、特段の計らいを戴いて会員全員が同部屋となった「貴賓室」へ。

二次会は、中フロアのリビング、地元、畠山(I)ご夫妻に準備していただいた地物の肴(珍味の“おとうふかまぼこ”・鯨のベーコンなどは美味でした)と地酒「浦霞」、会員持参の銘酒にて、四方山話も尽きないほど盛会に。後半には夫人部屋にてご夫人のみの茶話会も。

二次会の冒頭、会愛(名)称を全会一致にて廣松氏(I)応募の『悠遊会』に、次回予定も「九州、代表幹事:竹中氏」にすんなり決定、2008年の再会を約すことができました。



“ 五月雨の降のこしてや光堂 ”

翌24日も雨空、期待した朝日の絶景は残念、久保田教官は帰路へ、主力は観光バスにて平泉(「義経」ゆかりの地)へ、「毛越寺」・「中尊寺」と特別史跡を巡り、奥州藤原氏の栄華に満悦、前回の金沢「利家とマツ」に引き続いてのNHK「大河ドラマ」の地、歴史ロマンも感じることができました。

昼食は、平泉レストハウスにて伝統の餅料理「中尊寺門前料理」で会食、その後ショッピングに。

1530 降雨の仙台駅到着、握手、握手の別れの挨拶には再会約束がこめられていました。

旧交をあたため、勇気づけられた2日間でした。

会員参加者: 幸田・佐々木・竹中・辻・水上・吉川 (文責:田中丸)